

木質建材を美しく保つ

ちょっとした気配りが大切です。いつまでも美しく、もっと快適に暮らしましょう。



光

Sunlight

窓際など直射日光が当たる場所で注意することは？

太陽光線(紫外線)により人間と同じで日焼けをします。そのため光が当たる部分とそうでない部分で色が異なる状態になることがありますし、同条件下でも自然木個体別に日焼けの進み方が異なる場合もあります。また、ひび割れを生じやすくなりますので、カーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしましょう。

水

Water

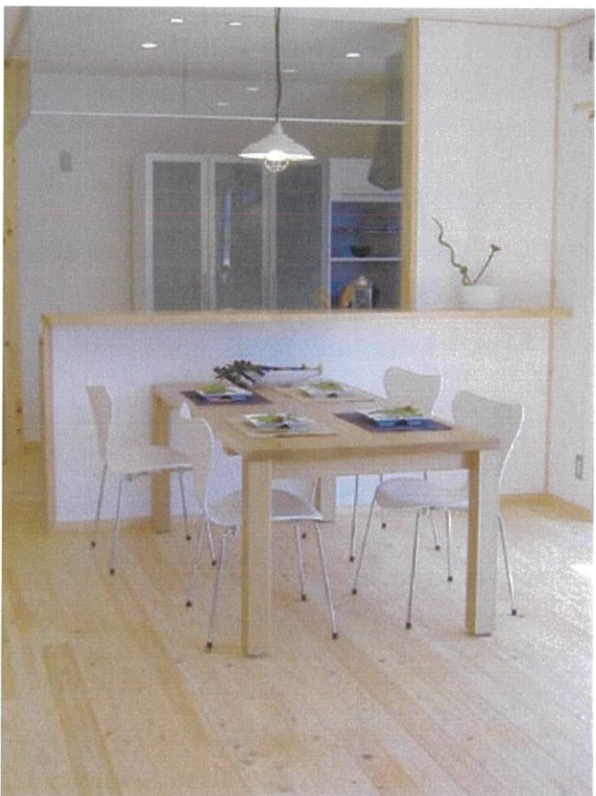
木質建材は本質的に水気を嫌います。長時間の雨濡れや水濡れは、シミやカビの発生、腐れ、変色、反り、突き上げなど様々な原因になりますので、速やかに乾いた布で拭き取りましょう。また、無塗装製品の場合には、あらかじめ木質用ワックスや浸透性保護塗料などで表面を保護しておいてください。

- 窓や縁側からの雨の吹き込みに注意しましょう。
- 結露による水滴にも注意しましょう。
- 台所や洗面所など、水が飛び散りやすい場所にはマットを敷いて保護してください。
- 観葉植物などの鉢には、必ず水受け用の皿を敷いてください。

砂・スリッパ

Sand・Slippers

外部からの砂やスリッパの裏面に付着した異物により、床材表面を傷付ける場合があります。砂や異物を除去してご使用ください。



電気カーペット

Hot Carpet

電気カーペットの熱が床材に直接伝わると、床材表面の乾燥によるひび割れや継ぎ目に隙間が発生する可能性があります。電気カーペットをご使用の際には、電気カーペットと床材の間に断熱性のあるシートやカーペットなどを敷いて、熱が直接伝わらないよう保護しましょう。

暖房器具

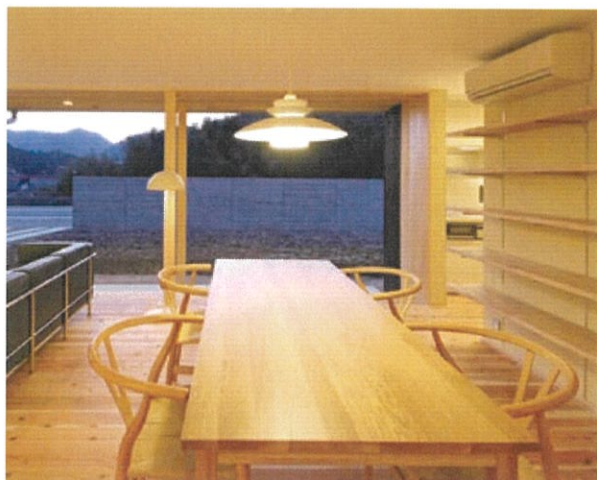
Heating System

温風ヒーターや反射式ストーブなどの暖房器具をご使用の際には、熱が直接当たると表面材の乾燥によるひび割れや床壁材の継ぎ目に隙間が発生する場合があります。温風や輻射熱が直接床壁面に当たらないように小さなマットなどを敷いて保護しましょう。

マット・カーペット

Mat・Carpet

玄関マットやカーペットなどの固定に、粘着テープ(ガムテープ、両面テープなど)の使用は避けましょう。はがす時などに床材表面を傷める可能性があります。



エアコン

Air Conditioner

エアコン冷暖房などを長時間連続して使用すると、室内が乾燥しすぎるため、床壁材の継ぎ目に大きな隙間や表面割れを生じたりすることがあります。加湿器などで適度な湿気を補うようにしましょう。

※加湿器の吹き出し口近くの床壁材表面が水濡れして、変色やひび割れなどを発生することがあります。加湿器の位置や吹き出し口の向きにはご注意ください。床壁材表面が水濡れした場合は、すぐに拭き取りましょう。

重量物

Heavy Goods

ピアノや冷蔵庫などの重量物を設置する場合は、保護板などの緩衝材を敷いて重量を分散させましょう。また、移動させる時は引きずらないようにご注意ください。直接置いたり、引きずって移動するとへこみや傷の原因になります。

家具

Furniture

キャスター付き家具(椅子やテーブル)などを使用される場合には、ゴムキャップや適切な厚みのカーペットなどを敷いて床材表面を保護してください。移動の際に床材表面を傷付け美観を損ねたり、トゲなどによる怪我の恐れがあります。また、一般の家具(パイプ椅子やテーブル)なども同様にお考えください。

※金属製や球状キャスター付きの家具、キャスター付きの大型家具(ベッドなど)、車椅子などが走行する場所への使用は絶対に避けてください。

薬品

Chemicals

各種薬品やアルカリ性洗剤、灯油などをこぼすと、床壁材表面を変色など傷める可能性があります。コーヒーや醤油などをこぼした場合もすぐに拭き取りましょう。

湿気

Moisture

床下や押入れ内部などの湿気により、床壁材の伸び、割れ、シミ、変色などを発生することがあります。適切に換気を行いましょう。

ペット

Pet

ペットが爪で床壁材表面を傷付けたり、排泄物でシミになったり変色する場合があるのでご注意ください。また、排泄物で汚れた場合はすぐに拭き取りましょう。